

ここでは情報教育の実践に役立つWebサイトを紹介します。

独立行政法人国立特殊教育総合研究所（NISE）

<http://www.nise.go.jp/>

「教育の情報化」において国の特別支援教育に関する情報の一部を分担しています。「障害のある子どもたちの教育の広場」では特別支援教育に関する文献データベースや様々な情報を発信しています。



図1：障害のある子どもたちの教育の広場（独立行政法人国立特殊教育総合研究所）

高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）e-Japan

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/>

IT戦略本部はわが国の高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進ことを目的に、平成13年から内閣に設置された組織です。情報通信技術（IT）の活用に関する教育政策を含む政策（e-Japan重点計画）等が発表されています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/main18_a2.htm

政府の方針を受け、文部科学省が教育の情報化を推進するための様々な情報を発信するサイトです。情報化に対応した教育を実現するため、前述のIT戦略本部が策定した「e-Japan重点計画」等に基づき、「2005年度までに、すべての小中高等学校等が各学級の授業においてコンピュータを活用できる環境を整備する」ことを目標に、教育用コンピュータの整備やインターネットへの接続、教員研修の充実、教育用コンテンツの開発・普及、教育情報ナショナルセンター機能の充実などを推進しています。

独立行政法人教育情報ナショナルセンター (NICER)

<http://www.nicer.go.jp/>

NICERは学校教育から、高等教育、生涯学習にいたる「教育の情報化」の推進を支援することを目的に設置された機関です。インターネット上にある日本の教育・学習に関する情報を収集・整理・発信することで、情報ネットワークの中心的役割をめざしています。教育・学習情報は、幼児・小学生、中学・高校生、大学生・社会人、生涯学習者等の学習者、教員や教育関係者それぞれに提供するWebサイトを提供しています (<http://www.nicer.go.jp/itnavi/>)。特別支援教育に関する情報も発信していますが、リンク情報が主で、前述の独立行政法人国立特殊教育総合研究所のWebサイトをはじめとする様々な専門サイトとの連携が期待されます。

独立行政法人障害者職業総合センター

<http://www.nivr.jeed.or.jp/>

障害者職業総合センターは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に規定されている施設で、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構が設置・運営を行っています。障害者職業総合センターには、研究部門が置かれており、障害のある人の情報技術を活用した雇用の促進について研究しています。研究部門で作成された、知的障害者の職場におけるパソコン利用を支援するためのマニュアル『仕事とパソコン』は、「Windows操作編」「文書作成編」「データ入力編」の3編からなり、それぞれWindowsの基本操作、日本語入力システムを使っての文字入力、伝票や名刺を使ってのデータ入力を、平易な文章と豊富なカラーイラストにより、わかりやすく解説しています。事業所をはじめ、養護学校高等部の職業に関する学習や就労支援施設などに利用されています。

社団法人 日本教育工学振興会 (JAPET)

<http://www.japet.or.jp/>

教育の情報化に関する情報発信を行っています。主に教員の情報化に対する研修等を担当しており、「ITが使える教員の基準」の調査・策定、「情報教育対応教員研修全国セミナー」等の実施を行っています。

また、JAPETでは毎年情報教育に関する実践事例集を発刊するほか、教師のための著作権Q&Aを紹介しています。

財団法人学習ソフトウェア情報研究センター (学情研)

<http://www.gakujoken.or.jp/>

財団法人学習ソフトウェア情報研究センター (学情研) は、1988年に設立された公益法人で、コンピュータを活用した教育実践の場で使われる学習ソフトウェア及びこれに関連する教材・資料等情報の収集・提供、調査研究等を行っている文部科学省所管の財団法人です。学習ソフトウェアの収集・提供事業、情報教育セミナーの開催、学習ソフトウェアコンクールの実施等を行っています。

最新の第21回学習ソフトコンクール (<http://www.gakujoken.or.jp/sokuhou17.html>) では、石川県立七尾養護学校珠洲分校教頭の神佐博先生の「さんすう・数学」学習ソフトが文部科学大臣奨励賞を、熊本大学附属養護学校の進照代先生の「Leeのきょうざいかん」が学情研賞を受賞されています。

財団法人 コンピュータ教育開発センター財団法人 (CEC)

<http://www.cec.or.jp/CEC/>

コンピュータ教育開発センター (CEC) はわが国の学校におけるコンピュータ利用促進のための基盤的技術を研究開発し、コンピュータ教育に関して普及啓発することを目的として設立された、文部科学省と経済産業省共管の財団法人です。「100校プロジェクト」「新100校プロジェクト」「Eスクエア」「Eスクエア・アドバンス」とわが国の学校教育における情報化を代表する研究プロジェクトを企画・運営し成果をあげてきました。現在は「Eスクエア・エボリューション」事業が実施されています。

CEC学校サーバーダウンロードサイト

<http://www.cec.or.jp/nichijishin/gakkoserver.html>

「学校サーバー」とは、独立行政法人産業技術総合研究所が Linuxを学校でのサーバー利用にカスタマイズしたものです。ICD Linuxの Knoppix を利用しているので、プログラムがCD-ROM上にあり、非常に堅牢なシステムとなっています。校内LANに接続されたパソコンの1台に配置することで、他のパソコンからサーバー機能が利用できます。

こころWeb

<http://www.kokoroweb.org/>

障害を持つ人のパソコン利用や、コミュニケーションを支援するためのサイトです。国内最大の障害者の情報活用に関するデータベース「こころリソースブック」はわが国の最新の情報を体系的に入手することができます。

また、毎年12月に行われるATACカンファレンスは、教員・福祉・医療関係者が参加する国内最大のAACとアシスティブ・テクノロジーに関するカンファレンスです。